

【資料編】 4. 中期見通し（28年9月仮試算）

中期見通し【28年9月仮試算】の前提条件

■推計期間：平成29年度～36年度

■推計ベース：28年度当初予算を基本としつつ、府税、交付税等、公債費、一部の事業等は、直近の状況を踏まえて推計

歳入	府税	<p>「中長期の経済財政に関する試算」(28年7月内閣府)で想定されているベースラインケースにおける各年度の各目GDP成長率を、翌年度の府税の伸び率に反映。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府税伸び率</td> <td>+2.2%</td> <td>+2.2%</td> <td>+1.7%</td> <td>+1.9%</td> <td>+1.7%</td> <td>+1.4%</td> <td>+1.3%</td> <td>+1.3%</td> </tr> <tr> <td>(28年2月試算)</td> <td>+3.1%</td> <td>+1.3%</td> <td>+1.9%</td> <td>+1.3%</td> <td>+1.3%</td> <td>+1.3%</td> <td>+1.3%</td> <td>+1.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※消費税は31年10月から税率10%になるものとして試算。(消費税増税による増収額は基準財政収入額に100%算入のため、収支差に影響しない。) ※法人二税の超過課税については継続と仮定した上で試算。</p>	年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	府税伸び率	+2.2%	+2.2%	+1.7%	+1.9%	+1.7%	+1.4%	+1.3%	+1.3%	(28年2月試算)	+3.1%	+1.3%	+1.9%	+1.3%	+1.3%	+1.3%	+1.3%	+1.3%
	年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																				
	府税伸び率	+2.2%	+2.2%	+1.7%	+1.9%	+1.7%	+1.4%	+1.3%	+1.3%																				
	(28年2月試算)	+3.1%	+1.3%	+1.9%	+1.3%	+1.3%	+1.3%	+1.3%	+1.3%																				
	交付税等	府税、社会保障関係経費及び公債費の推計を反映。消費税増税分は基準財政収入額に100%算入。臨時財政対策債は推計期間中毎年度発行を見込んだ。																											
一般歳入	税関連歳入については府税の伸びに連動、財政収支への影響が大きいと考えられる一般歳入の一部については、原則として32年度まで個別に積上げを行った。(33年度以降は、原則として32年度と同額)																												
特定財源	現行制度をベースに歳出連動とした。																												
その他	財政調整基金の活用を見込まず。																												
歳出	人件費	現時点での定数削減計画、今後の新陳代謝効果及び27年人事委員会勧告未実施分を反映。給与水準については、「中長期の経済財政に関する試算」(28年7月内閣府)で想定されているベースラインケースにおける消費者物価上昇率を反映。																											
	社会関係経費	これまでの実績を基に32年度まで推計。社会保障充実分は、扱いが未定のため粗い試算(28年2月版)と同様に見込んだ。(社会保障の充実に係る地方負担分は、交付税の基準財政需要額に100%算入のため、収支差に影響しない。)																											
	公債費	<p>「中長期の経済財政に関する試算」(28年7月内閣府)で想定されているベースラインケースにおける各目長期金利。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10年債金利</td> <td>0.8%</td> <td>1.1%</td> <td>1.2%</td> <td>1.5%</td> <td>1.6%</td> <td>1.7%</td> <td>1.8%</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>(28年2月試算)</td> <td>1.0%</td> <td>1.2%</td> <td>1.5%</td> <td>1.6%</td> <td>1.8%</td> <td>1.9%</td> <td>2.0%</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※5年債の金利については別途算定 公債費平準化を反映済み。</p>	年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	10年債金利	0.8%	1.1%	1.2%	1.5%	1.6%	1.7%	1.8%	1.9%	(28年2月試算)	1.0%	1.2%	1.5%	1.6%	1.8%	1.9%	2.0%	2.0%
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																					
10年債金利	0.8%	1.1%	1.2%	1.5%	1.6%	1.7%	1.8%	1.9%																					
(28年2月試算)	1.0%	1.2%	1.5%	1.6%	1.8%	1.9%	2.0%	2.0%																					
税関連歳出	府税収入の見込み額から推計。																												
投資的経費 一般施策経費	事業費が大きい又はその変動が大きく、財政収支への影響が大きいと考えられる一部の事業については、原則として32年度まで個別に積み上げを行った。(33年度以降は、原則として32年度と同額)																												

中期見通し【28年9月仮試算】

【府税伸び率】 H29: +2.2% H30: +2.2% H31: +1.7% H32: +1.9% H33: +1.7% H34: +1.4% H35: +1.3% H36: +1.3%
 【給与水準上昇率】 H29: +1.4% H30: +1.2% H31: +1.7% H32: +1.7% H33: +1.2% H34: +1.2% H35: +1.2% H36: +1.2%
 【10年債金利】 H29: 0.8% H30: 1.1% H31: 1.2% H32: 1.5% H33: 1.6% H34: 1.7% H35: 1.8% H36: 1.9%

(単位:億円)

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	
歳入	府税・地方法人特別譲与税(x)	16,270	16,610	16,850	18,690	18,710	18,950	19,180	19,380
	交付税等(臨財債、減収補填債含む)	4,570	4,960	4,980	4,360	4,580	4,450	4,320	4,180
	一般歳入	3,500	3,570	3,610	4,340	4,570	4,630	4,690	4,750
	税関連歳入(y)	3,170	3,240	3,290	4,020	4,250	4,310	4,370	4,430
	その他一般歳入	330	330	320	320	320	320	320	320
	特定財源	7,720	7,580	7,600	7,360	7,360	7,350	7,350	7,350
	国庫支出金	2,320	2,280	2,240	2,220	2,220	2,210	2,210	2,210
	府債(通常債)	810	780	670	620	620	620	620	620
	貸付金償還金等	4,590	4,520	4,690	4,520	4,520	4,520	4,520	4,520
	歳入合計(A)	32,060	32,720	33,040	34,750	35,220	35,380	35,540	35,660
歳出	人件費	8,460	8,400	8,330	8,250	8,220	8,200	8,170	8,170
	退職手当	730	710	670	620	610	600	590	580
	退職手当以外	7,730	7,690	7,660	7,630	7,610	7,600	7,580	7,590
	社会保障関係経費	4,570	5,000	5,130	5,270	5,290	5,310	5,330	5,350
	公債費	3,130	3,290	3,420	3,450	3,430	3,510	3,450	3,580
	税関連歳出(z)	7,290	7,450	7,600	9,270	9,870	10,000	10,130	10,260
	投資的経費	1,800	1,780	1,640	1,570	1,570	1,570	1,570	1,570
	公共	1,040	1,010	940	940	940	940	940	940
	単独	760	770	700	630	630	630	630	630
	一般施策経費	7,090	7,050	7,150	6,900	6,900	6,900	7,040	6,990
歳出合計(B)	32,340	32,970	33,270	34,710	35,280	35,490	35,690	35,920	
単年度収支(C)=(A)-(B)	▲ 280	▲ 250	▲ 230	40	▲ 60	▲ 110	▲ 150	▲ 260	
<参考>実質税収(x)+(y)-(z)	12,150	12,400	12,540	13,440	13,090	13,260	13,420	13,550	
減債基金償元額(D)	280	280	280	280	280	280	280	220	
収支不足額(E)=(C)-(D)	▲ 560	▲ 530	▲ 510	▲ 240	▲ 340	▲ 390	▲ 430	▲ 480	